

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|----|---|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 6 | | | 運動ができるスペースを確保している |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 6 | | | 5名から6名体制で行っている |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | 6 | | 出来ている箇所と建築上出来ない箇所がある |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 6 | | | 日々のミーティング支援の見直しを日々している |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 6 | | | 出来る限り改善するよう心掛け、保護者とコミュニケーションを図るようにする |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 6 | | | 事業所内掲示を行い誰もがみれるようしている |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | 6 | 外部評価を行っていない |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 6 | | | 社内外問わず、研修に参加してる |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6 | | | 面談や子供の様子から職員参画の元作成している |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 6 | | | 遠城寺式や独自の運動評価表を使用しグラフにすることで見やすくしている |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 6 | | | 児発管を中心に行っている |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 6 | | | 四季や行事ごとを感じられる年間プログラム固定化をしない様にしている |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | | | 6 | 療育内容を多少変えるが、基本は同じになっている |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6 | | | プログラムが中心なので個別活動は中々出来ていないが子供達個々の状態に合わせて対応を変えている |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 6 | | | 支援初日までに計画を立て支援をしてる |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 6 | | | 必ず、終礼時に振り返りをしてる |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 6 | | | 日誌・個別日誌・連絡ノートに記録を取っている |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|--|---|---|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 6 | | | 3カ月に一度は行っている |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 6 | | | 活動を通じて多様性を感じられる支援を行っている |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 6 | | | 担当者会議には管理者もしくは児発管が必ず参画してる |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 6 | | | 保護者へお願いをし情報を頂いている。時には学校の先生よりお便りを頂くこともある |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | 6 | 受け入れ体制なし |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 6 | | | しっかり行えている |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | | 6 | 今のところ就労へ移行してる利用者がいない |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | | 6 | 連携は出来ていない。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | 6 | ひびのスケジュールが決まっており、柔軟な対応が出来ていない。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | | 6 | 出来ていない。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 6 | | | 連絡ノートや送迎時に情報共有をしている |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | 6 | 母子分離で行っていることもあり、出来ているとは云えない |

| | | | | | | |
|------------|----|---|---|---|---|--|
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 6 | | | 必ず行っている |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 6 | | | 出来る限り対応する |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | 6 | 出来ていない。賛否あるため対応を検討中 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | | | 出来る限り対応する |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 6 | | | 年間プログラムの配布。週に一度のFacebook更新をしている |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 6 | | | 鍵付き書庫に保管 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 6 | | | 分かりやすく・的確にを注意してる |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | 6 | 事業所の行事には利用者のみで行っている |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | 4 | 2 | 注意喚起の書面を配布しているが、想定訓練は出来ていない |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 6 | | | 消防に協力してもらい年に数回実施している |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 6 | | | 社内外問わず、研修に参加してる |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | 6 | | 対象児童がいないため実行していない。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | 6 | | 対象者がいないが、アレルギーのある児童に対してはお皿の色・形を変えたりしている。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 6 | | | 記録に残し対応してる |